

2023年6月10日 No.167

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 池内 顕典

東京都港区芝 2-8-13 KITAハイム芝3F

TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857

URL: http://www.nugw.jp

E-mail: nugw@nugw.jp

全国一般全国協

23春闘の成果から、貧困・格差拡大と軍拡・増税を許さない闘いを進めよう!!

23春闘の成果と限界を共有する総括議論を深めよう!

稀にみるインフレ・物価高騰の下で23春闘が取り組まれた。中小零細企業労働者・非正規の賃金労働条件向上を目指す私たちの闘いは、今日継続している。

民間大企業労働者の賃上げが中小・非正規労働者へ波及するという「春闘」が機能不全に陥って久しく、大企業を中心に14春闘以来最高という今春闘も異常な



5月1日 神奈川メーデー

物価高騰に抗しきれないまま格差が拡大している。6月厚労省発表の今年4月の毎勤速報は、物価変動を加味した実質賃金が前年同月比3.0%減、13カ月連続のマイナスと報じている。一部大企業の「満額回答」平均3.35%UPにも拘わらず生活破壊が進行する事態が続いている。

そうした中、全国協の各地春闘は、職場の強い賃上げ要求を背景に粘り強く続いている。組合員の職場討論を積み重ねた要求の重みは、従来の賃上げを越える結果を生んでいる。生活実態に加えて格差拡大や企業間・業種別賃金の実態など

の議論の深まりが粘り強い闘いの基盤である。加えて、中小零細・非正規労働者の構造的な低賃金の打開のため、法定「最低賃金」大幅引き上げの重要性がますます大きくなって

いる。全国協は、23春闘の一環として、全国一律最賃制・最賃大幅アップを目指す全国署名運動・地域労働局申し入れ行動などに取り組んできた。継続して非正規労働者の賃金引き上げの闘いと連動する最賃闘争を、地域共闘・業種共闘を強めて取り組む必要がある。

そして、生活破壊の物価高騰が続く中で、従来の春闘を越えて、臨時の生活手当・福利厚生要求など創意を凝らした通年を見据えた闘いを進めよう。

格差・貧困を拡大する労働政策に反対しよう

6月国会で、難民排除の出入国管理法の改悪が強行

された。グローバル社会での多文化共生に反する命と

人権無視の悪法は許されない。移住労働者として労働基本権確保が必要だ。人権擁護、少子高齢化社会が現実化している中で私たちの労働の在り方の問題でもある。

そして、政府は「新しい資本主義」「労働市場改革」を進めようとしている。「転職による能力向上・職務給の導入拡大・成長分野

戦争への道・増税を許さず、変化する社会・政治の動きに対応する労働運動を!

今春、先制攻撃・軍事費拡大の「防衛三文書」を改定した政府は、さらに武器輸出を強化する「防衛産業強化法案」を強行しようとしている。防衛産業国営化

は、戦争と赤字補填の増税の道である。職場・地域から反対の声を組織しよう。23春闘に引き続き夏期闘争を取り組み、今秋の第33回定期大会の成功に向けて組

への労働力移動の三位一体改革」が言われる。実態は、より一層の雇用流動化・不安定化を促進する労働力移動だ。転職活性化の結果、そこから振り落とされる「弱者」の存在は省みられない。雇用保障・社会保障の拡充、非正規・中小零細の格差是正、同一賃金・同一労働を無視した強引な労働力移動は、格差と貧困の更なる拡大となる。弱者が弱者と対立する「ハラスメント」「ヘイト」―差別と排外主義を許さない労働者の連帯と共闘をめざそう。

合員の積極的な討論を組織しよう。

スケジュール

- 6/18(日) 10:00~ (Web併用) 全国協第6回中央執行委員会
- 6/30(金) 東京総行動 08:45~日本製鉄 17:10~日本航空

最賃

中央最賃審議会
目安全協報告について



4月17日 最賃署名8千600筆超提出

中央最低賃金審議会は4月6日「目安全協の在り方に関する全員協議会(以下、目安全協という)」の報告を公表した。

全国協はこの目安全協に①最賃金のあるべき水準を議論すること、②全国一律最賃制度に向けてランク制を見直すこと、③全審議金を完全に公開することを申し入れていた。

目安全協では、議論すべき項目として①目安全協の在り方(あるべき水準、議事の公開等)②地方最賃審議会における審議(目安の位置付け、ランク制度の在

り方、発効日)③目安全協に用いる参考資料を挙げた。報告では、最賃の「あるべき水準」の議論は一向に進展しなかった。政府が掲げてきた全国加重平均1000円への到達が見込まれ、欧米先進国では最賃が1700円〜2000円になる中で、最賃法の目的「賃金の低廉な労働者の生活の安定を図る」ための「あるべき水準」の議論が進まないことは極めて遺憾だ。

ランク制について、4ランクから3ランクとしたが、政府や最賃審議会の地域間格差の是正とは、最賃の最高額に対する最も低い県の最賃額の比率を縮小するといふもので、絶対額を縮小するものではない。よって、地域間格差の解消のためには、3ランク制になってもAよりもB、Cランクの引き上げ額が大きくなるよう一層の取り組みが必要だ。議事の公開については、公労使がそろって審議会は公開することとした。公開の流

等
待
遇

労契法20条裁判の最高裁判決をのりこえて
6月3日、「キステム裁判勝利シンポジウム」を開催!



4月25日 霞ヶ関共同行動(厚労省前)

盛岡地裁で闘われている契約社員高橋さんのキステム裁判はいよいよ終盤戦に入り、この秋にも証人尋問が行われます。この緊迫した状況下、私たち全国一般全国協が主催して、裁判を攻勢的に推進して下さる.....

盛岡地裁で闘われている契約社員高橋さんのキステム裁判はいよいよ終盤戦に入り、この秋にも証人尋問が行われます。この緊迫した状況下、私たち全国一般全国協が主催して、裁判を攻勢的に推進して下さる.....

ている仙台さくら法律事務所
の霜越優弁護士を東京の中央会場に迎えてキステム裁判勝利シンポジウムを開催しました。

冒頭、原告の高橋さんが、パートタイム有期雇用労働法の施行を契機に同一賃金同一労働をかちとる闘いを開始した経過を述べ、併せてこれまで御支援いただいた皆様方への御礼を述べました。そのあと霜越弁護士が裁判報告に入りました。霜越弁護士は、2020年10月の大阪医科薬科大とメトロコマースの最高裁判決を細かく分析して裁判を始めたことや被告の主張に対しては証拠を提出して反論してきたことなどを詳しく語りました。質疑の後、全国で20条裁判を闘ってきた郵政ユニオンの中村知明さんとヤマト運輸を相手に賞与差別20条裁判を最高裁まで闘った宮城合同労組の畠山健治さんが貴重な報告を行いました。中央会場の30

名とZOOMで全国を結び熱のこもったシンポジウムが行われました。

最後に必勝を期し闘うことと、公正判決を求める全国署名の取り組みが主催者から提起されてシンポジウムが無事終了しました。

(星野憲太郎)



6月3日@東京新橋ばるーん

23春闘の取り組み

各支部の春闘で成果かちとる！

東京東部労組

◇個人タクシー世田谷第三職員支部／ストライキで継続雇用・賃上げなどの要求実現！

個人タクシー協同組合世



【写真①】

田谷第三職員支部は、組合員2人が一週間にわたるストライキで闘い、3月23日の団体交渉で再雇用の継続や賃上げなどの要求を使用者に認めさせました。【写真①】

職場を軸にした共闘の必要性を改めて確認

東京労組

東京労組は、23けんり春闘発足集会において春闘共闘体制を確立し、新型コロナウイルスの影響で旗開きを三役書記局新年顔合わせに変更した。その後、三役会議・執行委員会を重ね、2月25日に春闘討論会議を開催し、大幅賃上げを中心とした統一要求の他、重点的に取り



4月21日 社前集会



【写真②・左】

て障害を負った後に車いすに乗りながら職場復帰を果たした井桁組員【写真②・左】が先頭に立ち、賃上げとともに職場のトイレに障害者用の手すりを設置するよう会社に要求し、設置を認めさせました。

組む課題などを議論し、例年通り3波の大衆行動を軸に春闘行動日程を設定した。第1波(3/17)は、1職場申入れ、2職場社前集会、最賃ヒラ撒き行動を行い、第2波(4/7)は、バス部会直庁申入れを行い、けんり春闘中央行動Genma Japan集会は、和解交渉のため急遽中止し、春闘決起集会を開催した。第3波(4/21)は、全労の3職場社前集会を中心に行った。そして、日比谷メーデー、

◇タケエイ支部／乗務員対象の退職金制度創設・物価上昇に対する一時金かちとる

タケエイ支部は06年4月の組合結成以来の「ドライバー」にも退職金制度の創設を」との要求を今年の春闘においても突きつけ、3月22日の団体交渉で「ドライバーを対象とする「退職慰労金制度」の創設・今年4月1日からの運用開始を組合に回答させました。

また、物価上昇対策としての一時金を要求し、1人あたり10万円の支給をかちとりました。



4/7 春闘決起集会

横田基地反対などを経て、6月24日に春闘総括会議を

「避難計画の実効性判断を放棄した仙台地裁判決」高裁に控訴！

女川原発再稼働差止訴訟原告団事務局長 (宮城全労協) 日野正美

避難計画の実効性を争点とした女川原発差止訴訟の第1審判決(5月24日、仙台地裁)は「重大事故の発生の危険性を原告側で具体的に主張・立証しない限り、避難計画の不備を(裁判所として)判断する必要はない」と住民らの請求を棄却し、再稼働を容認しました。

原発の重大事故の発生を否定できないことは、福島第一原発事故が示していますし、この事故後、避難計画を自治体に法的に義務付けたことをとつても明らかです。「事故発生の立証」と「事故が起きる危険性」は開催する。物価高騰に対する諸要求を背景に大幅賃上げを獲得した職場もあるが、実質マイナスの職場も少なくありません。しかし、春闘要求実現闘争の中、職場を軸にした春闘共闘の必要性を改めて確認した23春闘になりました。

第一審判決の取消しを求め、早期に結審させて女川原発の再稼働される前に逆転判決を得て、ないがなんでも再稼働を阻止するために、6月5日、仙台高裁に控訴しました。ご支援とご注目を！

（委員長 中村賢）

第33回京都地域メーデー

京都ユニオン

5月1日、円山野外音楽堂で第33回京都地域メーデーをたたかいました。参加者は105名。

連帯挨拶・メッセージ、実行委員会参加団体からのリレーアピールで20数団体が発言し、多くの課題が提起されました。デモでは多くの旗や横幕が大注目のにぎやかなデモでした。賃金上げる！物価を下げる！軍拡反対！老朽原発動かすな！

パートやバイトを差別するな！憲法改悪反対！外国人労働者と連帯しよう！労働組合活動を犯罪にするな！などスローガンを市民に訴えました。デモ中にも「自然エネルギーへの転換を怠った政府の失政の結果、危険な老朽原発が再稼働されよう」とか、「最低賃金が低すぎる！県毎に異なる最低賃金は同一労働同一賃金の原則に反する地方差別だ！」などを訴えました。



地道な日常活動で前向き回答かちとる 職場から社会を変える「転換期」に!!

東京なんぶ

23春闘は政・財界の「賃上げムード」が一部でベアを獲得し善戦しましたが、中小の職場である東京南部では全体的には依然として厳しい春闘が続いています。

そのような中でも、長く厳しい道のりも諦めない日常の組合活動、職場討議、毎年の春闘の取り組みが労使交渉に前向きな回答をも

たらしました。とりわけハイウェイの職場では歴史的な大幅賃上げを獲得しました。

この春闘で、成果は日常活動の先にあることを私たちは確認できたと思います。

大手の春闘状況、また労働力確保競争で大手企業の初任給の大幅な賃上げが報道されていますが、こうし

た大手企業労働者と労働組合未組織の労働者や非正規雇用労働者との格差が拡大していることも事実としてあります。

私たちの闘いがこのような格差拡大を止めるものになるよう、地道な組合活動と労使交渉を通じて職場から社会を変える運動を作っていくましよう。この闘いを真の意味での「転換期」にしたいと思えます。

(委員長 中島由美子)



英語講師のブリティッシュカウンシル支部で強制解雇反対スト(5/20)

労働局 申入れ

5月23日

東京労働局に申入れ

5月23日、東京労働局長に対して、東京4労組の7人で、最低賃金制度の見直しなどの9項目の申入れを、1時間にわたりおこなった。東京労働局からは労働基準部など8人が「会見」した。

使用者不服申し立て、解雇の金銭解決などの労働法制改悪は行わないこと、④労働法18条「無期転換」後の労働者への均等待遇原則の適用、の4項目について意見交換した。

とくに、①最低賃金額の早期と大幅引上げとランク制廃止、②均等待遇として、諸手当や基本給退職金の賃金部分の実現、③労働者保護に逆行するような、裁量労働制の拡大、労災保険の

労働者保護の観点から無期転換後の行政指導を求めたところ、雇用環境・均等部から、3月30日雇止めに関する基準告示が出され、来年4月から適用されるとの報告があった。



4・30

徳島で4年ぶりの 三単産メーデー前夜祭

大鵬薬品労組

2023年4月30日午後より徳島港湾労働福祉会館2階会議室にて三単産メーデー前夜祭が実施された。徳島の地においては、三単産(全国協・全日建・全港湾)の横の繋がりは深く、20年前位より4月30日にメーデー前夜祭を実施していた。コロナ禍により3年間中止されていたが、4年振りに19回目のメーデー前夜祭が実施された。

参加者は三単産の本部(全国協より池内書記長)・徳島県内の友誼組合及び政党的議員数名と県内の徳島地区労や三単産の組合員等であり、約50名以上の参加者数であり多くの報告や活発な議論がなされた。予定終了時間も大幅に延長された。非常に内容の濃いものであった。

その中の特別報告として関西地区生コン支部に対する

る不当弾圧の報告があり、司法のあり方が問われた。最近では組合加盟の組織率が低い為、裁判官は労働法を学ぶ事なく裁判官になり労働組合員の正当な行動であるストライキが業務妨害となってしまうとの事であった。よって私達は組合の組織拡大に今後もより努めていくべきであると感じた。

最後に来年の4月30日のメーデー前夜祭にて皆さんに会える事を祈念し閉会の挨拶を行い、成功裏にて終了した。



5・11

組合側の勝利和解！組合活動 へのスラップ訴訟取下げ！

ケアワーカーズユニオン山紀会支部



2023年5月11日、社会医療法人山紀会が、組合員3名に対して提起したスラップ訴訟等が取り下げられ、組合側の全面的な勝利和解になりました！皆さんのご支援本当にありがとうございます！

今回、具体的に取り下げになった訴訟は、2020年4月、労働組合として行った組合活動に対して、山紀

会側が組合員3名へ損害賠償請求訴訟(2020年6月)、その訴訟に対する組合員側の反訴(2022年6月)。また、2022年2月、大阪府労委が命じた訴訟自体が不当労働行為(支配介入)に該当するといふ命令に対する取消訴訟。その訴訟すべてが取り下げられました。

この勝利和解によって、大阪府労委による「組合員活動へのスラップ訴訟が不当労働行為である」という画期的な命令が確定しまし

た！

なお、現在も山紀会事件は、大阪府労委(命令待ち)、中労委にて現在調査中です。また、職場内での団交も定期的に行っています！今後ともご支援よろしくお願います！

5・27

オスプレイ反対！基地撤去！ 米軍横田基地反対集会・デモを貫徹！

東京全労協が中心に活動している。「米軍基地に反対する実行委員会」の呼びかけに応じて、5月27日に米軍横田基地近くの「福生公園」に労働者・市民による参加者80名が結集して集会・デモが取り組まれた。本木事務局長による司会で集会が始まり、主催者挨拶として実行委代表の大森議長が、横田基地強化に反対

し、岸田政権の軍拡政治に対して断固反対して闘い抜き、沖縄と連帯して反戦平和の闘いを推し進めて行くとの決意が表明された。参加団体から連帯挨拶と決意表明を受け、デモに出発し「米軍横田基地撤去・オスプレイ配備反対・軍事拡大大政策糾弾」を訴えて集会とデモ行進を貫徹してきました。



5.27 横田米軍基地デモ (@東京都福生市)



平和祈念公園
糸満市 午後3時ごろ

沖縄を日本を戦場にさせない
平和とくらしを守る県民大会

あす午前10時半〜 コンベンションセンター(宜野湾市)で開催



5月12日 結団式 (@琉球新報ホール)

沖縄平和行進に 参加しての感想

全国一般神奈川

私は平和行進に初参加でした。南部コースは第二次

世界大戦の激戦地です。前日にひめゆりの塔と旧海軍司令豪を視察し、沖縄で史上まれにみる悲惨な地上戦が行われたことを改めて認識し、未だ多くの遺骨が残されていると思うと、のどかに農地が広がる南部の景色がまるで違ってみえました。沿道の慰霊塔・碑の多さにも驚かされました。ここを再び戦場とするような愚かな過ちを犯してはなら

ないと強く感じ、「日米軍事強化を許さないぞ」などのシュプレヒコールにも熱が入りました。

5月14日は大浦湾から辺野古の新基地建設現場を視察し、沖縄の民意を無視してここまで工事を進められてしまったのか、と絶望とともに申し訳ない気持ちになりました。

「平和とくらしを守る県民大会」で「家に帰るまでが平和行進、本当は沖縄から基地がなくなるまで」という言葉がありました。沖縄で感じたことを本土に持ち

帰り平和のために行動をしなくてはならない、と意志を強くしました。

清水真樹子

昨年と今年2回目の参加です。平和行進はコロナで縮小された昨年と変わり、参加人数も増え、南部コース、中部コースともに距離も10km超に伸びました。三単参は毎年恒例で南部のコースに参加しています。糸満市役所から出発し平和記念公園がゴール、歩き始めて直ぐにシュプレヒコールの始まりです。声を出し腕を上げ皆が一つになって最後まで行進していく姿は感動的でした。3日目の「平和とくらしを守る県民大会」も戦争を知らない世代に問いかける話があり、沖縄の今を身近に感じました！

戦争についてTV報道されても他人事だと思って観てはいないか？もしこの先本当に戦争が始まってしまったら、真っ先に沖縄がまた攻められるのではないのか？この綺麗な自然がいっぱいの沖縄が無くなってしまふのか？と考えると、平和行進に参加

して学んだことを、自分の周りの人に伝えて行くことが大事な事と思いました。

野中明代

芝浦と場労組

私は5、6年前沖縄平和行進に参加するはずだった、体調を悪くして行けなかったのだ、今年は立場も代わり引率という立場で一課、二課、臓器合わせて9名で沖縄平和行進に参加した。人数分の航空券やお金の管理に持ち物の旗、棒、腕章の準備に加えて、また体調を悪くしないか、炎天下の長い距離を歩けるのか？いろいろな事を考えて少しナーバスになっていた！しかしやり遂げないといけない私も2人の子供がいて子供が生きる間は戦争は起きてほしくない、年に一回沖縄旅行に行っている沖縄の自然に魅了され、これ以上基地などの建設により沖縄の自然を壊してほしく

ないという気持ちは本当だった！東京に住んでる私があると思うのだから沖縄の人の平和行進に対する思いはどういうものなのか？この3日間何んでもいいから感じとりたいと思っていた、平和行進、交流会、県民大会、実際に戦争で使われていた陣地壕の見学、米軍基地の視察で戦争の怖さや悲惨さを知った！この沖縄平和行進で勉強した事を持ち帰り来年行くメンバーに引き継ぎたいと思った命どう宝「命は宝物」わかる!!

白井重光



5月14日 三単産夕食懇親会